

令和5年度

教育研究活動等に係るデータ分析による

自己点検・評価報告書

令和5年6月

福井大学

全学内部質保証委員会

目 次

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価の概要・・・	1
2. IR室員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 自己点検・評価結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）・・・・・・・・	7
5. 分析基本データ集・・・・・・・・・・・・・・・・	25
6. 特徴データ一覧とその達成状況・・・・・・・・	45

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価の概要

【実施に当たり】

「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」は、福井大学内部質保証規程（令和3年1月27日 福大規程第1号）第8条の規定に基づき、福井大学全学自己点検・評価実施要項（令和3年3月22日 学長裁定）により実施するものである。

本自己点検・評価は、IR 機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価として、IR 室（経営戦略課）で収集しているファクトブックのデータを分析し、現状や中期目標・計画の進捗状況など本学の教育研究活動等を、毎年度、自己点検・評価するものである。分析するデータは、ファクトブックに収納されたデータの内、①大学の現状等を示す「基本データ」の中から適切なデータ（以下、「分析基本データ」という）、②第4期の教育研究活動等の中心として中期計画の進捗を示す定量的な評価指標「特徴データ」とする。

「分析基本データ」は、基本データの中から、①設置基準等、法令で定められている事項、②法人評価・認証評価で確認が求められる事項、③社会的な要請を含め、大学として目標を定めている事項、④その他、共通指標等の主な事項など、自己点検できるものを精選している（別紙）。その際、データの定義の全学的な統一、関係データの組織的な収集などに十分配慮する。他方、「特徴データ」は、第4期中期計画に係る評価指標の中から、全ての定量的な評価指標から構成されている。

データの分析においては、其々のデータにあらかじめ設定した評価基準等（目標値を含む）に基づき、“評価基準等を達成できたか/満たしているか”の観点から自己点検・評価を行う。この自己点検・評価の結果に基づき、必要に応じて、改善に向けた方策等を策定する。これら評価結果に基づき、関係部署等は、中期計画の達成を含め改善・向上に向けた取組みを実施する。このように、本自己点検・評価は点検・評価・改善のプロセスを形成しており、全学質保証として機能するものである。そこで、本自己点検・評価は、「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」として、全学自己点検・評価の一環として位置付ける。なお、「特徴データ」の自己点検・評価は、別途、法人評価対応部会が実施する全学内部質保証の一環とした「中期目標・計画の進捗に係る自己点検・評価」の中で実施する。

【第4期中期目標・計画への関与】

本自己点検・評価は、以下の第4期中期目標・計画に関与している。

中期目標

- 14) 外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを用いたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。

中期計画

- 14)-1 エビデンスベースによる法人運営を目指し、IR機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価を実施し、教育研究活動等の質の改善状況をステークホルダーに分かりやすく発信していく。

評価指標 (達成水準を含むこと)	14-1-A 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価を毎年度実施し、開示している。
---------------------	---

本自己点検・評価とその結果の公表は、中期計画であげた「IR 機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価の実施」に相当するものであり、評価指標の達成に向け、毎年度実施することとしている。

【実施手順等】

分析基本データに係る自己点検・評価は、基本的に、「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、以下のように実施した。なお、特徴データに係る自己点検・評価は、「中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、法人評価対応部会が別途実施した。

(1) 実施体制

分析基本データについて、IR 室（経営戦略課）がデータ収集・整理等を、評価担当理事が評価を、IR 室員が確認等を実施した。今回分析したデータは別表（分析基本データ集）に示す。

(2) 実施方法

(分析基本データの定義と評価対象データ)

員 数 群：当該年度5月1日現在の員数データ（当該年度入学者に関する入試データを含む）

実 績 群：前年度実績データ

員数群-補：当該年度11月1日現在の員数データ

実績群-補：前年度実績のうち追って集計が必要なデータ

本年度は、員数群および実績群のデータを6月末までに、員数群-補および実績群-補のデータを11月までに自己点検・評価する。

(分析基本データの自己点検・評価)

- ① 経営戦略課は、分析基本データを収集し、それぞれの評価基準等とともに分析基本データ集として整理した。
- ② 評価担当理事は、上記①のデータを確認し、評価基準等に基づき其々のデータを「データ分析による自己点検・評価シート（以下「自己点検・評価シート」という）」を活用して評価する（評点を付す）とともに、必要に応じてコメント及び特記事項（優れている点/改善を要する点）を記載した。

なお、評点は以下の3段階とした

1. 評価基準等を満たしている
 2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
 3. 評価基準等を満たしていない
- ③ IR 室員は、上記の結果を確認し、必要に応じてコメント、特記事項を記載した。

(3) 自己点検・評価結果等の決定

- ① IR室（経営戦略課）は、自己点検・評価シートを取り纏め、「令和5年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書（以下「報告書」という）」を作成・確認し、全学内部質保証委員会に提出した。なお、員数群-補および実績群-補のデータ分析の結果は、補刷として後日提出する。
- ② 全学内部質保証委員会は、自己点検・評価結果等を審議した。
- ③ 全学内部質保証委員会では重大な課題や改善事項等がないと判断し学長がそれを認めたので、必要な法定会議へは報告することとした。

(4) 改善に向けた取組

- ① 学長は、決定した自己点検・評価結果等を、教育研究評議会等での報告を通じて周知する。
- ② 関係部局等は、上記の自己点検・評価結果等に基づき、改善等を図る。

(5) 評価結果等の公表等

- ① 上記(3)-③で評価結果等が決定された後、報告書をHP等で公表する。
- ② 報告書は経営協議会に報告し、学外委員からの意見聴取を行うこととしている。

【特徴データ】

中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価で別途実施した特徴データに係る自己点検・評価結果は、特徴データを一覧として報告書に添付した。詳細は、「令和5年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価報告書」を参照のこと。

【自己点検・評価実施期間】

本自己点検・評価は、令和5年5月から令和5年6月に実施した。

【評価項目】

別紙「分析基本データ一覧とその評点」のとおり。

【各データの基準時】

員数群：令和5年5月1日現在

実績群：令和4年4月1日～令和5年3月31日

別紙 分析基本データ一覧とその評点

分類	基本データ（項目）		粒度	基準等	対象年度	実績（前年度） /員数（今年度）	当該年度の評点	備考
教育	1-①	志願者数・受験者数	学部・学科 研究科・課程	過去5年間の平均以上	当該年度5月現在 (春期)	員数群	2	
	1-②	入学定員充足率 ・平均入学定員充足率	学部・学科 研究科・課程	認証評価等の基準 (目安:100%以上、 130%未満)	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1-②'				及び11月現在 (秋期を含む)	員数群-補		
	1-③	収容定員充足率（未充足の 状況）	学部・学科 研究科・課程	法人評価等の基準 (90%以上:医・工・教研・ 医研・工研 80%以上:教・国・国研)	当該年度5月現在	員数群	1	モニタリング項目
	1-④	収容定員超過率	学部 研究科	法人評価等の基準 (110%)	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1-⑤	授業外学修時間	全学・学部	第3期末より増 (12.5時間)	前年度	実績群	3	
	1-⑥	標準修業年限内卒業・修了 率	各局部	認証評価等の基準 (目安: 教研:85% 工研:82.5% 教・医・工・国・国研:80% 医研:-)	前年度	実績群	2	共通指標 モニタリング項目
	1-⑦	標準修業年限×1.5年以内 での卒業・修了率	各局部	認証評価等の基準 (目安: 教・医・工・国:90%以上 教研・医研修・工研前・国 研:85%以上 医研博・工研後:70%以 上)	前年度	実績群	2	モニタリング項目
	1-⑧	学位授与数（博士）	医学系・工学	前年度より増	前年度	実績群	2	共通指標
1-⑨	就職率	全学・部局	高い水準を維持 (概ね96%前後)	前年度	実績群	1	特徴データと重複 (2)-1-B他	
研究	2-①	研究論文数（年間）（教員 当たりの業績数）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群-補		共通指標 3年間の平均ではなく、1年 ごとのデータを取り扱う
	2-②	科研費採択件数・内定金額 （教員当たりの獲得額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	3	研究推進課から提供のデータ とし、共通指標数値とは異なる 可能性あり
	2-③	外部資金獲得状況:総額・ 内訳別総額（教員当たりの 受託・共同研究受入額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	1	研究推進課から提供のデータ とし、共通指標数値とは異なる 可能性あり
グローバル	3-①	外国人留学生数	全学	設定した目標値 (第3期の正規留学生数の 年平均(118名)より増加)	前年度	実績群	3	特徴データと重複 (7)-1-A
	3-②	海外派遣学生数	全学	設定した目標値 (第3期のJASSO海外留学支援 制度の支援実績の年平均(171 名)より増加)	前年度	実績群	3	
教員数	4-①	専任教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4-②	研究指導・補助教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4-③	若手教員採用比率	人事で設定した 粒度	人事で策定した目標値 (若手教員の採用比率: 年平均60%以上)	前年度	実績群	1	共通指標 「福井大学における教員の 総合的な人事計画」に 掲げる目標値（この計画にお ける若手教員:当該年度の年度末 における年齢が40歳未満の者）
	4-④	女性教員比率	人事で設定した 粒度	人事で策定した目標値 (88年度末までの目標値: 22%以上)	当該年度5月現在	員数群	3	「福井大学一般事業主行 動計画」に掲げる目標値

- 当該年度の評点
1. 評価基準等を満たしている
 2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
 3. 評価基準等を満たしていない

2. IR室員一覧

令和5年4月1日

	役職・所属	氏名	備考
室長	理事（教育・評価担当）副学長	安田 年博	
副室長	参与（特命職員）	窪田 昭一	
室員	学長補佐（工学部 教授）	山田 徳史	（主に教育・評価担当）
	学長補佐（医学部 教授）	定 清直	（主に研究担当）
	学長補佐（工学部 教授）	小嶋 啓介	（主に社会貢献担当）
	副学長（工学部 教授）	永井 二郎	（主にグローバル担当）
	教育学部 教授	浅原 雅浩	（主に人文社会領域担当）
	経営戦略課 課長補佐	林 大剛	全学 IR
	財務課 課長補佐	亀江 高志	財務 IR
	教務課 主査	安本 聖司	教学 IR
	松岡キャンパス学務課 主査	嶋田 真人	教学 IR
	研究推進課 課長補佐	古市 康博	研究 IR
松岡キャンパス研究推進課 課長補佐	中辻 圭恵	研究 IR	

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

3. 自己点検・評価結果の概要

本年度の自己点検・評価結果の概要は以下のようである。

(1) 分析基本データ

基本データ総数	評点 ¹⁾			該当せず ²⁾
	1	2	3	
19	6	6	5	2

- 1) 評点 1. 評価基準等を満たしている
 2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
 3. 評価基準等を満たしていない

2) 員数・実績群一補

評価結果は別紙「分析基本データ一覧とその評点」のとおり。

本年度は、上記のように、基本データのうち、6データは「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」、5データは「評価基準等を満たしていない」と判定された。これらデータの中には法人評価・認証評価で確認が求められる事項や共通指標に該当するものもあり、それぞれ、評価基準等を満たすよう、改善に向けた取組が求められる。

(2) 特徴データ¹⁾

定量的な評価指標総数 ²⁾	目標値を達成	目標値が未達成	該当せず ³⁾
64	51	3	10

- 1) 「令和5年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価」より抜粋。
 2) 評価指標の中に複数の指標がある場合、別個の取り扱いとした
 3) 当該年度に取組の予定がないもの、基準値を設定することとしているもの。

評価結果は「特徴データ一覧とその達成状況」のとおり。

本年度、設定した当該年度の目標値を達成していない評価指標は、

- ・(3)-2-B 多職種連携教育科目数
- ・(7)-1-A 正規留学生数
- ・(8)-2-A Science Citation Index (SCI) 論文数

のとおりである。次年度の目標値を達成できるよう、向上に向けた取組が求められる。

4. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育
基本データ項目：	1-① 志願者数・受験者数 (春期)
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	教育学部（学校教育課程）、医学部（医学科、看護学科）、工学部（機械・システム工学科、電気電子情報工学科、建築・都市環境工学科、物質・生命化学科、応用物理学科）、国際地域学部（国際地域学科）、国際地域マネジメント研究科（国際地域マネジメント専攻）が、志願者数及び受験者数とも基準を満たしていない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準等を満たさない部局等については、志願者・受験者増に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育
基本データ項目：	1-② 入学定員充足率・平均入学定員充足率 (春期)
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	工学部(物質・生命化学科)が入学定員充足率の基準を満たしていない。また、医学系研究科(統合先進医学専攻)、工学研究科(総合創成工学専攻)、国際地域マネジメント研究科(国際地域マネジメント専攻)が、入学定員充足率及び平均入学定員充足率とも基準を満たしていない。加えて、連合教職開発研究科(教職開発専攻)、医学系研究科(看護学専攻)が平均入学定員充足率の基準を満たしていない。なお、国際地域マネジメント研究科(国際地域マネジメント専攻)については、設置後3年目であり、平均入学定員充足率は設置後3年間の平均とした。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、入学定員確保に向けた改善が求められる。なお、医学系研究科(統合先進医学専攻)、工学研究科(総合創成工学専攻)については、10月入学において充足を図られたい。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育
基本データ項目：	1-③ 収容定員充足率（未充足の状況）
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	国際地域マネジメント研究科（国際地域マネジメント専攻）は、毎年度、定員充足率が低下しており、基準値を下回らないよう配慮願いたい。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育
基本データ項目：	1-④ 収容定員超過率
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	工学研究科（産業創成工学専攻、知識社会基礎工学専攻）が、収容定員超過率の基準を満たしていない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、適正化に向けた収容定員の管理が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育
基本データ項目：	1-⑤ 授業外学修時間
点検・評価結果	
評点	3. 評価基準等を満たしていない
コメント	1年次と3年次の授業外学修時間の全学平均値は9.5時間となり、目標値(12.5時間)に達していない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、各学年において、授業外学修時間の増加に向けた改善が求められる。なお、基準値(第3期末)と今回の調査結果は調査方法が異なっており、本年度実績値からの増加を期待したい。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育
基本データ項目：	1-⑥ 標準修業年限内卒業・修了率
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	医学部（医学科）、国際地域学部、工学研究科（博士後期課程）、国際地域マネジメント研究科が、標準修業年限内卒業・修了率の基準を満たしていない。なお、当該データは共通指標ともなっており、より高い実績値が望まれる。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、標準修業年限内卒業・修了率の増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育
基本データ項目：	1-⑦ 標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	工学部、医学系研究科（博士課程）、工学研究科（博士後期課程）が、標準修業年限×1.5年内卒業・修了率の基準を満たしていない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、標準修業年限内×1.5年卒業・修了率の増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育
基本データ項目：	1-⑧ 学位授与数（博士）
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準を満たしていない
コメント	工学研究科が、学位授与数の基準を満たしていない。なお、当該データは共通指標ともなっており、より高い実績値が望まれる。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、学位授与数の増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育
基本データ項目：	1-⑨ 就職率
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	研究
基本データ項目：	2-② 科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
点検・評価結果	
評点	3. 評価基準等を満たしていない
コメント	科研費の教員当たりの獲得額は413,072円となり、目標値(429,428円)に達していないので、科研費採択増加のための取組が求められる。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	当該基本データは各部局等の合計値として算定しているが、この向上には各部局等における科研費の採択増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	研究
基本データ項目：	2-③ 外部資金獲得状況：総額・内訳別総額 (教員当たりの受託・共同研究受入額)
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	グローバル
基本データ項目：	3-① 外国人留学生数
点検・評価結果	
評点	3. 評価基準等を満たしていない
コメント	正規留学生数は106名となり、目標値（118名）に達していないので、正規留学生増加のための取組が求められる。特に、このデータは中期計画に係る評価指標ともなっており、最終的な目標値の達成をお願いしたい。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	コロナウイルス感染症もだいぶ鎮静化されており、正規留学生数の増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	グローバル
基本データ項目：	3-② 海外派遣学生数
点検・評価結果	
評点	3. 評価基準等を満たしていない
コメント	海外派遣学生数は99名となり、目標値(171名)に達していない。コロナが影響していると思われるが、海外派遣学生数の増加のための取組が求められる。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	新型コロナウイルス感染症もだいぶ鎮静化されており、海外派遣学生数の増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教員数
基本データ項目：	4-① 専任教員数
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教員数
基本データ項目：	4-② 研究指導・補助教員数
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教員数
基本データ項目：	4-③ 若手教員採用比率
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	採用する教員によるが、教育・人文社会系部門では若手教員採用比率が低下しており、今後配慮いただきたい。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教員数
基本データ項目：	4-④ 女性教員比率
点検・評価結果	
評点	3. 評価基準等を満たしていない
コメント	全学における女性教員比率が 21.4%となり目標値（22%以上）に達していない。特に、工学系部門及び先進部門においては、目標値に達していないので、引き続き女性教員比率を向上させるための取組が求められる。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	国立大学法人福井大学一般事業主行動計画(令和4年4月1日～令和9年3月31日)の期間内での達成に向けて、引き続き女性教員比率向上の取組が求められる。
備考	

5. 分析基本データ集

分析基本データ集 1 - ①志願者数・受験者数（春期）



年度	志願者数・受験者数			
	学部・研究科	学科・専攻	志願者数	受験者数
● 2023				
○ 2022				
○ 2021				
○ 2020				
○ 2019				
○ 2018				
○ 2017				
○ 2016				
○ 2015				
	教育学部	学校教育課程	295	202
	医学部	医学科	625	310
	医学部	看護学科	169	137
	工学部	機械・システム工学科	336	201
	工学部	電気電子情報工学科	294	173
	工学部	建築・都市環境工学科	183	117
	工学部	物質・生命化学科	345	224
	工学部	応用物理学科	166	85
	国際地域学部	国際地域学科	182	90
	連合教職開発研究科	教職開発専攻	68	68
	医学系研究科	看護学専攻	14	14
	医学系研究科	統合先進医学専攻	19	19
	工学研究科	産業創成工学専攻	108	107
	工学研究科	安全社会基盤工学専攻	100	97
	工学研究科	知識社会基礎工学専攻	116	112
	工学研究科	総合創成工学専攻	14	14
	国際地域マネジメント研究科	国際地域マネジメント専攻	5	5
	合計		3039	1975

- 種別
- 学部
 - 大学院

- 入学時期
- 4月

目標値（過去5年間の平均）			
学部・研究科	学科・専攻	志願者数（過去5年平均）	受験者数（過去5年平均）
教育学部	学校教育課程	427.2	282.0
医学部	医学科	764.2	342.6
医学部	看護学科	200.0	149.8
工学部	機械・システム工学科	634.8	360.6
工学部	電気電子情報工学科	534.0	311.6
工学部	建築・都市環境工学科	358.4	222.8
工学部	物質・生命化学科	401.8	260.4
工学部	応用物理学科	217.2	106.0
国際地域学部	国際地域学科	245.0	144.6
連合教職開発研究科	教職開発専攻	50.4	50.4
医学系研究科	看護学専攻	10.8	10.6
医学系研究科	統合先進医学専攻	15.6	15.6
工学研究科	産業創成工学専攻	104.3	104.0
工学研究科	安全社会基盤工学専攻	93.7	93.3
工学研究科	知識社会基礎工学専攻	106.3	106.0
工学研究科	総合創成工学専攻	13.8	13.8
国際地域マネジメント研究科	国際地域マネジメント専攻	7.7	7.3
	合計	4206.2	2601.2

※「志願者数（過去5年平均）」及び「受験者数（過去5年平均）」について、設置後5年未満の学
 26 研究科等においては、設置後の各年度実績の平均（5年未満の平均）により計算。

年度

- 2023
- 2022
- 2021
- 2020
- 2019
- 2018
- 2017
- 2016
- 2015

種別

- 学部

入学時期

- 4月

入学定員充足率・平均入学定員充足率

学部・研究科	入学定員	入学者数	入学定員充足率	平均入学定員充足率
教育学部	100	108	108.0%	105.8%
学校教育課程	100	108	108.0%	105.8%
医学部	170	173	101.8%	101.5%
医学科	110	110	100.0%	100.2%
看護学科	60	63	105.0%	104.0%
工学部	525	545	103.8%	103.2%
機械・システム工学科	155	163	105.2%	104.0%
電気電子情報工学科	125	125	100.0%	103.2%
建築・都市環境工学科	60	62	103.3%	104.3%
物質・生命化学科	135	133	98.5%	100.1%
応用物理学科	50	62	124.0%	107.2%
国際地域学部	60	63	105.0%	105.0%
国際地域学科	60	63	105.0%	105.0%
合計	855	889	104.0%	103.3%

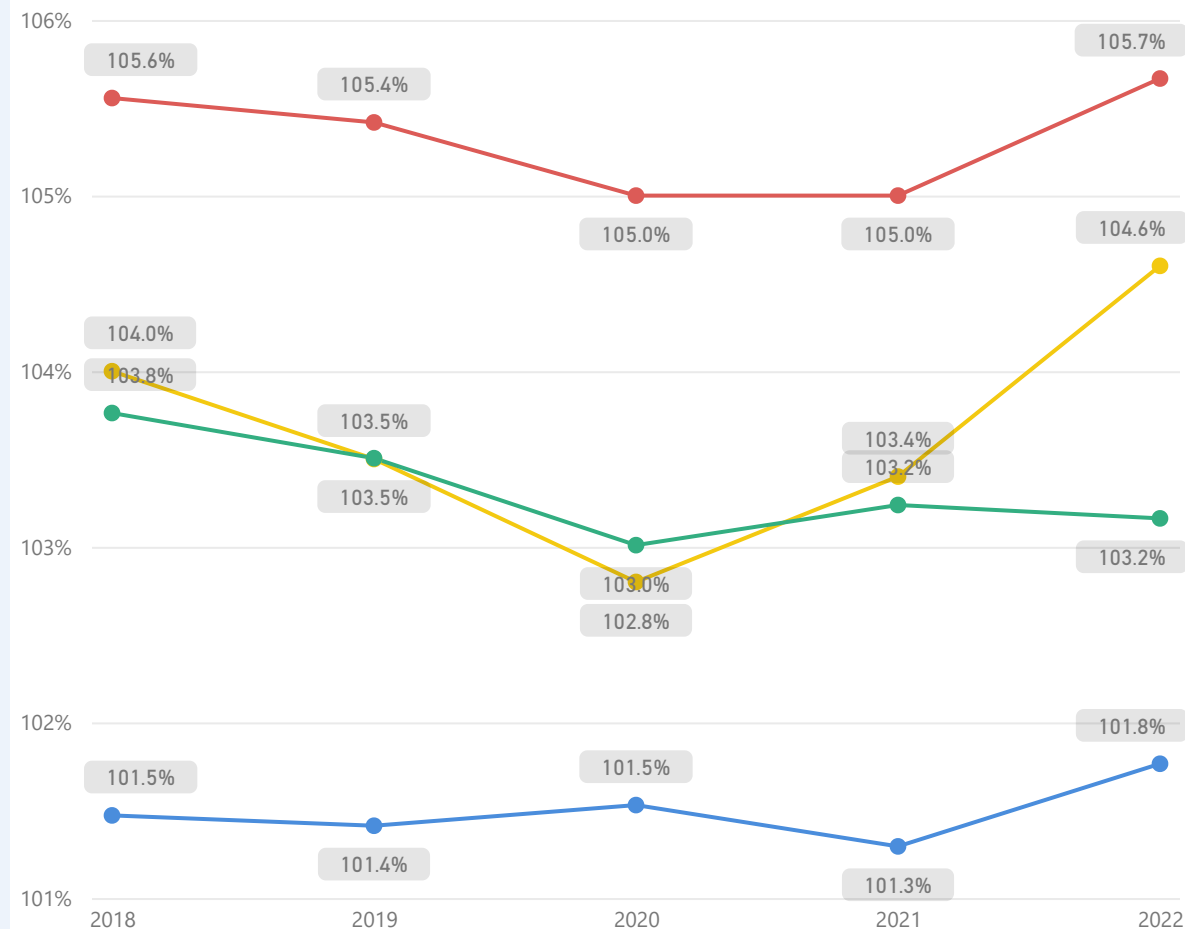
目標値

入学定員充足率 **100%以上130%未満**

平均入学定員充足率※ **100%以上130%未満** ※当年度を含む過去5年の平均

【参考】平均入学定員充足率の推移（学部・研究科別）

●教育学部 ●医学部 ●工学部 ●国際地域学部



年度

- 2023
- 2022
- 2021
- 2020
- 2019
- 2018
- 2017
- 2016
- 2015

種別

- 大学院

入学時期

- 4月

入学定員充足率・平均入学定員充足率

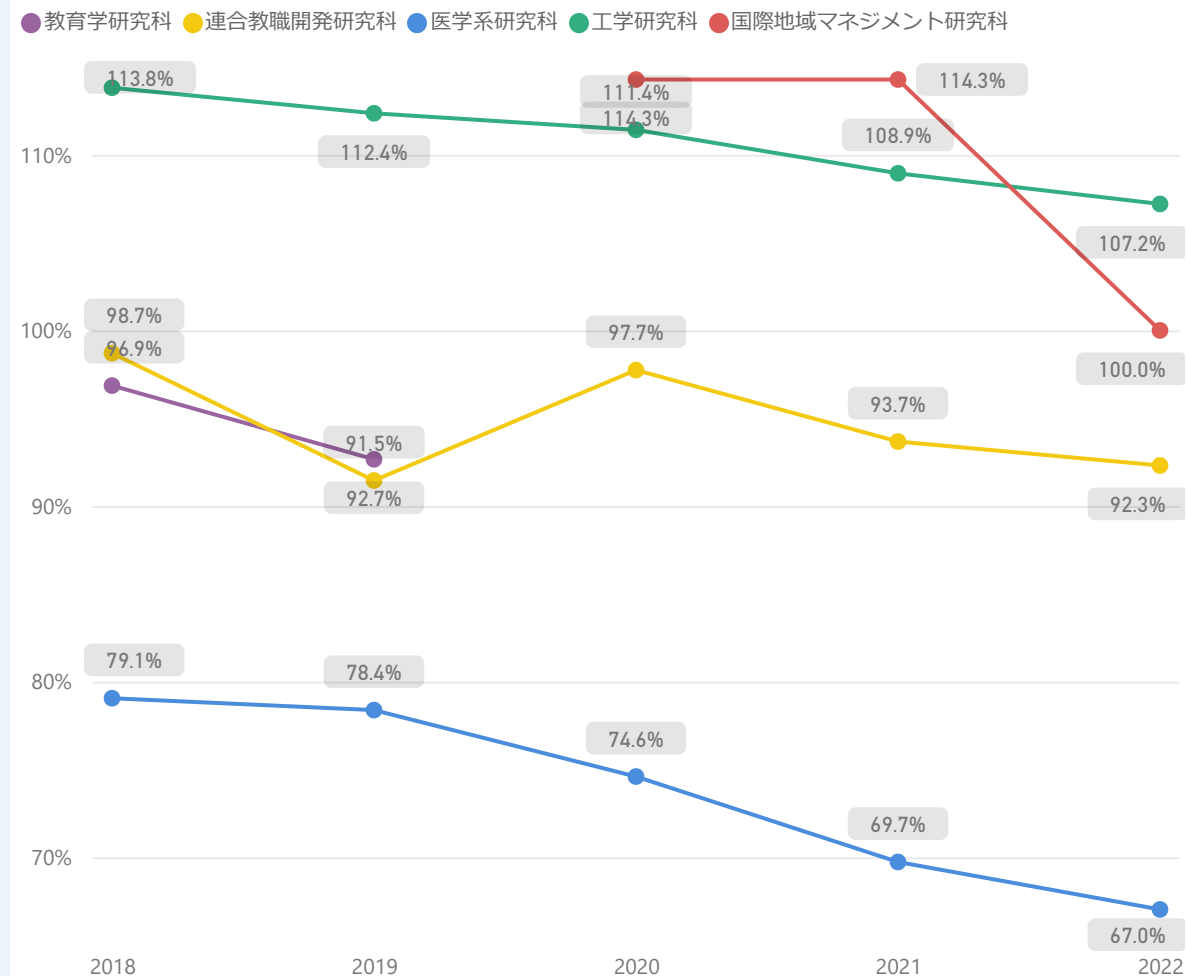
学部・研究科	入学定員	入学者数	入学定員充足率	平均入学定員充足率
連合教職開発研究科	60	66	110.0%	96.1%
教職開発専攻	60	66	110.0%	96.1%
医学系研究科	37	31	83.8%	71.9%
看護学専攻	12	12	100.0%	90.0%
統合先進医学専攻	25	19	76.0%	63.2%
工学研究科	275	296	107.6%	107.3%
産業創成工学専攻	85	97	114.1%	114.4%
安全社会基盤工学専攻	84	91	108.3%	105.7%
知識社会基礎工学専攻	84	96	114.3%	114.0%
総合創成工学専攻	22	12	54.5%	60.0%
国際地域マネジメント研究科	7	5	71.4%	92.9%
国際地域マネジメント専攻	7	5	71.4%	92.9%
合計	379	398	105.0%	101.3%

目標値

入学定員充足率 **100%以上130%未満**

平均入学定員充足率※ **100%以上130%未満** ※当年度を含む過去5年の平均

【参考】平均入学定員充足率の推移（学部・研究科別）



年度

- 2023
- 2022
- 2021

収容定員充足率（学部・研究科、学科・専攻別）

学部・研究科	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（%）
教育学部	400	438	109.5%
学校教育課程	400	438	109.5%
教育地域科学部		1	0.0%
地域科学課程		1	0.0%
医学部	925	962	104.0%
医学科	685	709	103.5%
看護学科	240	253	105.4%
工学部	2180	2,356	108.1%
機械・システム工学科	640	713	111.4%
電気電子情報工学科	540	587	108.7%
建築・都市環境工学科	260	278	106.9%
物質・生命化学科	540	555	102.8%
応用物理学科	200	222	111.0%
電気・電子工学科		1	0.0%
国際地域学部	240	265	110.4%
国際地域学科	240	265	110.4%
合計	3745	4,022	107.4%

収容定員充足率（課程別）

課程区分	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（%）
学士課程	3745	4,022	107.4%

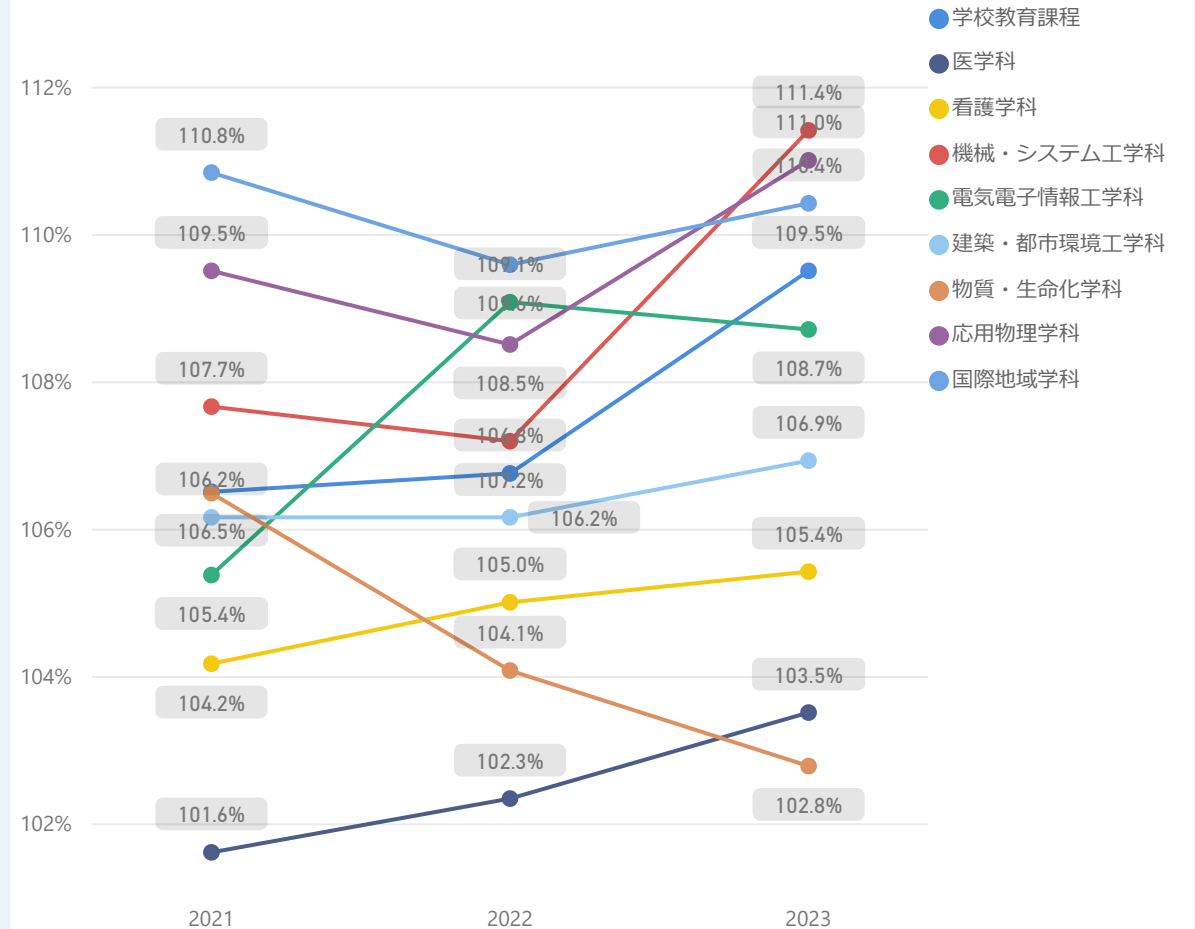
目標値

収容定員充足率

教育学部・国際地域学部・国際地域マネジメント研究科：**80%以上**

医学部・工学部・連合教職開発研究科・医学系研究科・工学研究科：**90%以上**

【参考】収容定員充足率の推移（学部・研究科別）



年度

- 2023
- 2022
- 2021

収容定員充足率（学部・研究科、学科・専攻別）

学部・研究科	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（%）
連合教職開発研究科	120	112	93.3%
教職開発専攻	120	112	93.3%
医学系研究科	124	174	140.3%
看護学専攻	24	32	133.3%
統合先進医学専攻	100	142	142.0%
工学研究科	572	685	119.8%
産業創成工学専攻	170	213	125.3%
安全社会基盤工学専攻	168	188	111.9%
知識社会基礎工学専攻	168	203	120.8%
総合創成工学専攻	66	81	122.7%
国際地域マネジメント研究科	14	13	92.9%
国際地域マネジメント専攻	14	13	92.9%
合計	830	984	118.6%

収容定員充足率（課程別）

課程区分	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（%）
修士課程・博士前期課程	530	636	120.0%
専門職学位課程	134	125	93.3%
博士課程・博士後期課程	166	223	134.3%
合計	830	984	118.6%

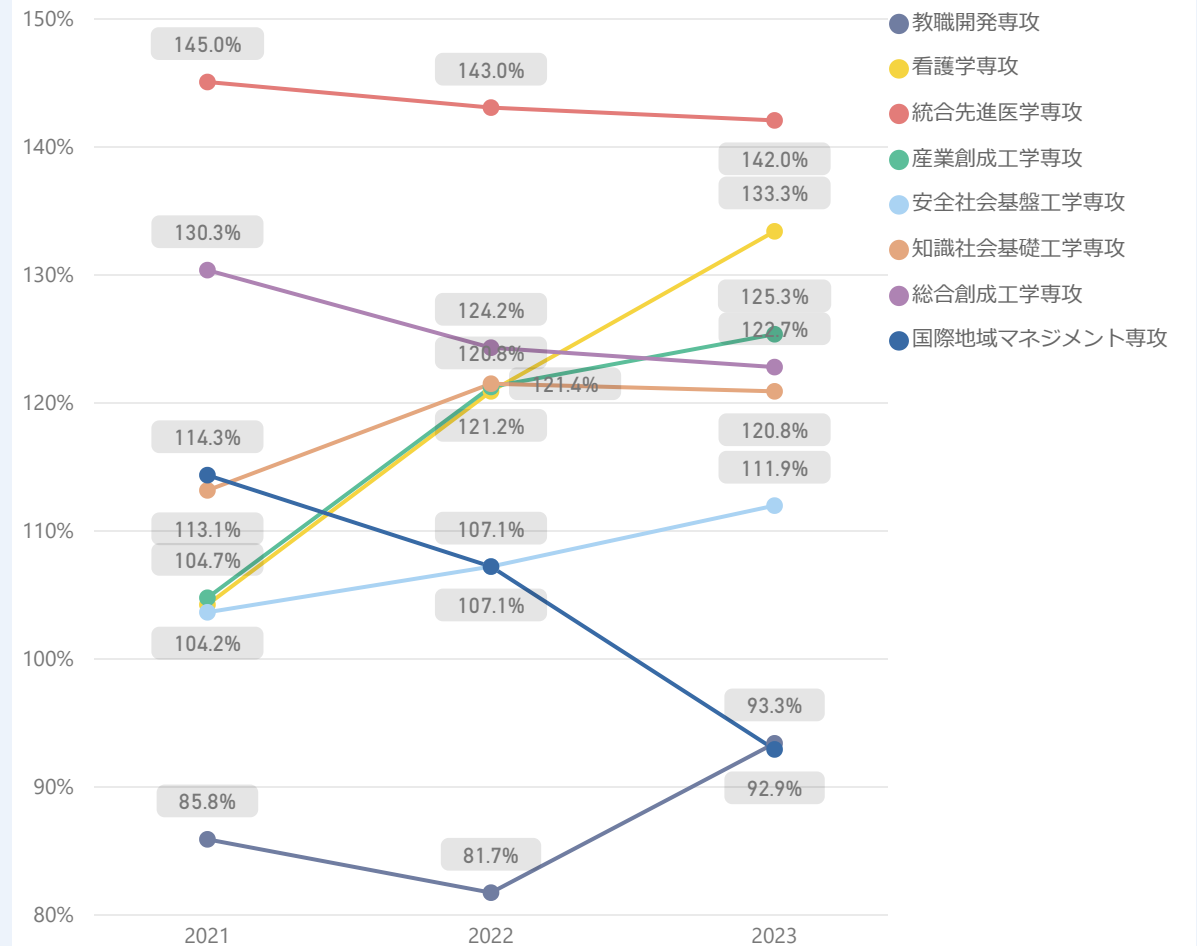
目標値

収容定員充足率

教育学部・国際地域学部・国際地域マネジメント研究科：**80%以上**

医学部・工学部・連合教職開発研究科・医学系研究科・工学研究科：**90%以上**

【参考】収容定員充足率の推移（学部・研究科別）



年度

- 2023
- 2022
- 2021

収容定員超過率（学部・研究科、学科・専攻別）

学部・研究科	収容定員（人）	在学者数（人）	定員超過率（%）
教育学部	400	438	105.5%
学校教育課程	400	438	105.5%
教育地域科学部		1	0.0%
地域科学課程		1	0.0%
医学部	925	962	99.7%
医学科	685	709	97.8%
看護学科	240	253	105.0%
工学部	2,180	2,356	101.1%
機械・システム工学科	640	713	103.9%
電気電子情報工学科	540	587	99.4%
建築・都市環境工学科	260	278	98.1%
物質・生命化学科	540	555	99.1%
応用物理学科	200	222	105.0%
電気・電子工学科		1	0.0%
国際地域学部	240	265	99.2%
国際地域学科	240	265	99.2%
合計	3,745	4,022	101.1%

※定員超過率算出に当たり、以下を在学者数から控除
 国費留学生数、外国政府派遣留学生数、私費外国人留学生数（留学生のための特別コースに在籍する者）、
 休学者数、留年者数（修業年限を超える在学期間が2年以内）

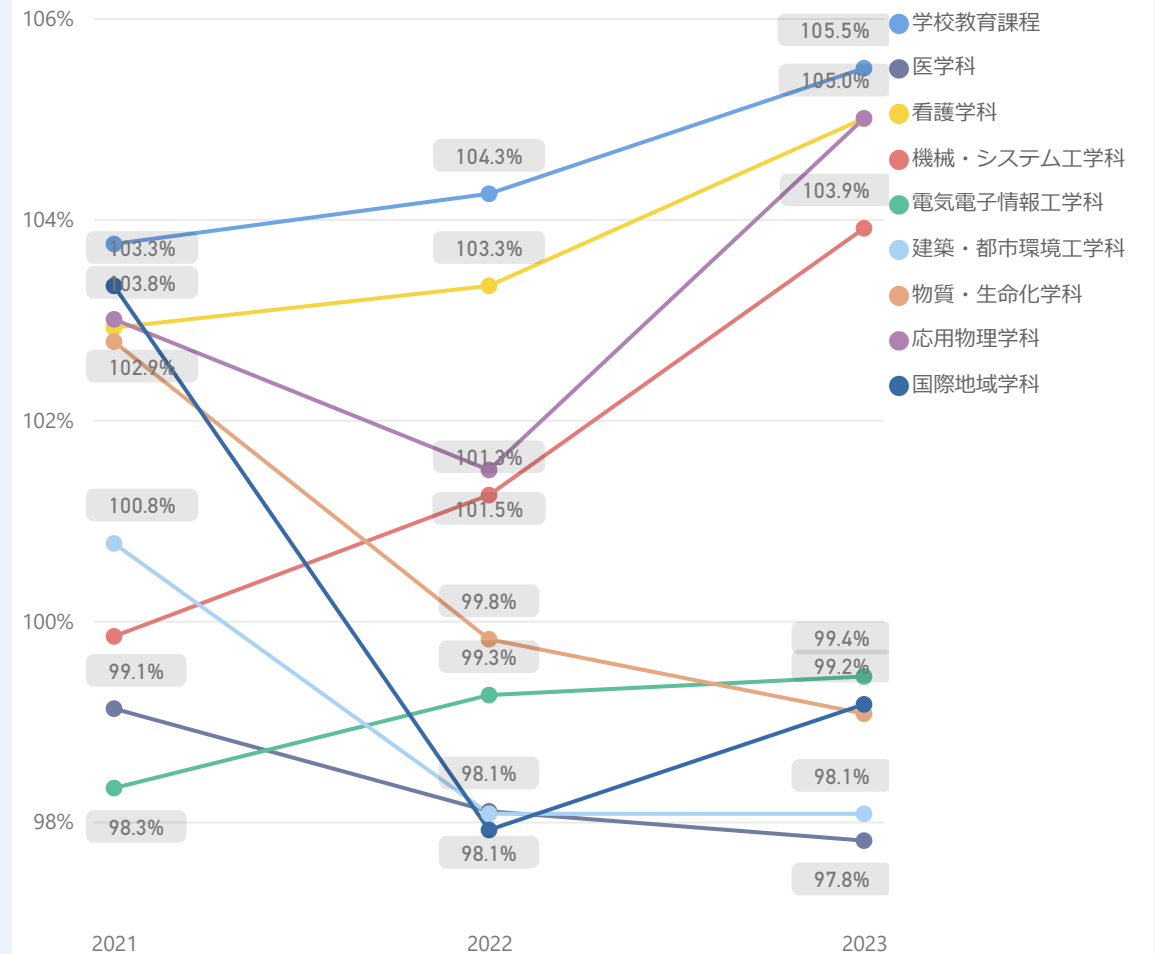
目標値

収容定員超過率 **110%未満**

収容定員超過率（課程別）

課程区分	収容定員（人）	在学者数（人）	定員超過率（%）
学士課程	3,745	4,022	101.1%

【参考】収容定員超過率の推移（学部・研究科別）





年度

- 2023
- 2022
- 2021

収容定員超過率（学部・研究科、学科・専攻別）

学部・研究科	収容定員（人）	在学者数（人）	定員超過率（%）
連合教職開発研究科	120	112	90.0%
教職開発専攻	120	112	90.0%
医学系研究科	124	174	94.4%
看護学専攻	24	32	104.2%
統合先進医学専攻	100	142	92.0%
工学研究科	572	685	106.5%
産業創成工学専攻	170	213	119.4%
安全社会基盤工学専攻	168	188	102.4%
知識社会基礎工学専攻	168	203	113.1%
総合創成工学専攻	66	81	66.7%
国際地域マネジメント研究科	14	13	78.6%
国際地域マネジメント専攻	14	13	78.6%
合計	830	984	101.8%

※定員超過率算出に当たり、以下を在学者数から控除
 国費留学生数、外国政府派遣留学生数、私費外国人留学生数（留学生のための特別コースに在籍する者）、
 休学者数、留年者数（修業年限を超える在学期間が2年以内）

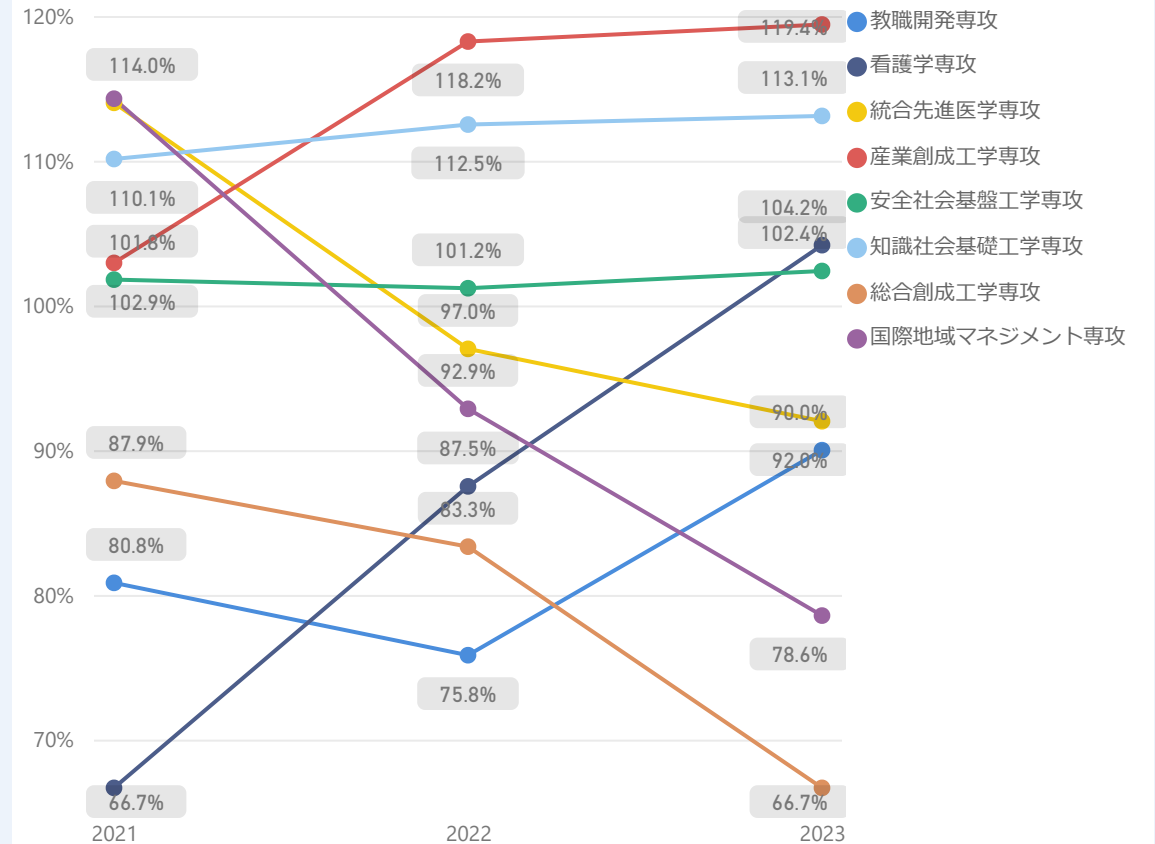
目標値

収容定員超過率 **110%未満**

収容定員超過率（課程別）

課程区分	収容定員（人）	在学者数（人）	定員超過率（%）
修士課程・博士前期課程	530	636	111.3%
専門職学位課程	134	125	88.8%
博士課程・博士後期課程	166	223	81.9%
合計	830	984	101.8%

【参考】収容定員超過率の推移（学部・研究科別）



年度

● 2022

授業外学修時間（学部・研究科、学科・専攻別）

学部・研究科	1年次	3年次	合計
教育学部	10.8	8.6	10.2
学校教育課程	10.8	8.6	10.2
医学部	8.6	10.3	9.4
医学科	8.9	10.0	9.4
看護学科	8.2	10.6	9.3
工学部	9.6	9.3	9.5
機械・システム工学科	9.2	9.3	9.2
電気電子情報工学科	8.5	10.7	9.5
建築・都市環境工学科	7.8	9.4	8.6
物質・生命化学科	12.0	7.8	10.2
応用物理学科	9.1	9.3	9.2
国際地域学部	9.5	7.8	8.7
国際地域学科	9.5	7.8	8.7
合計	9.6	9.4	9.5

授業外学修時間（課程別）

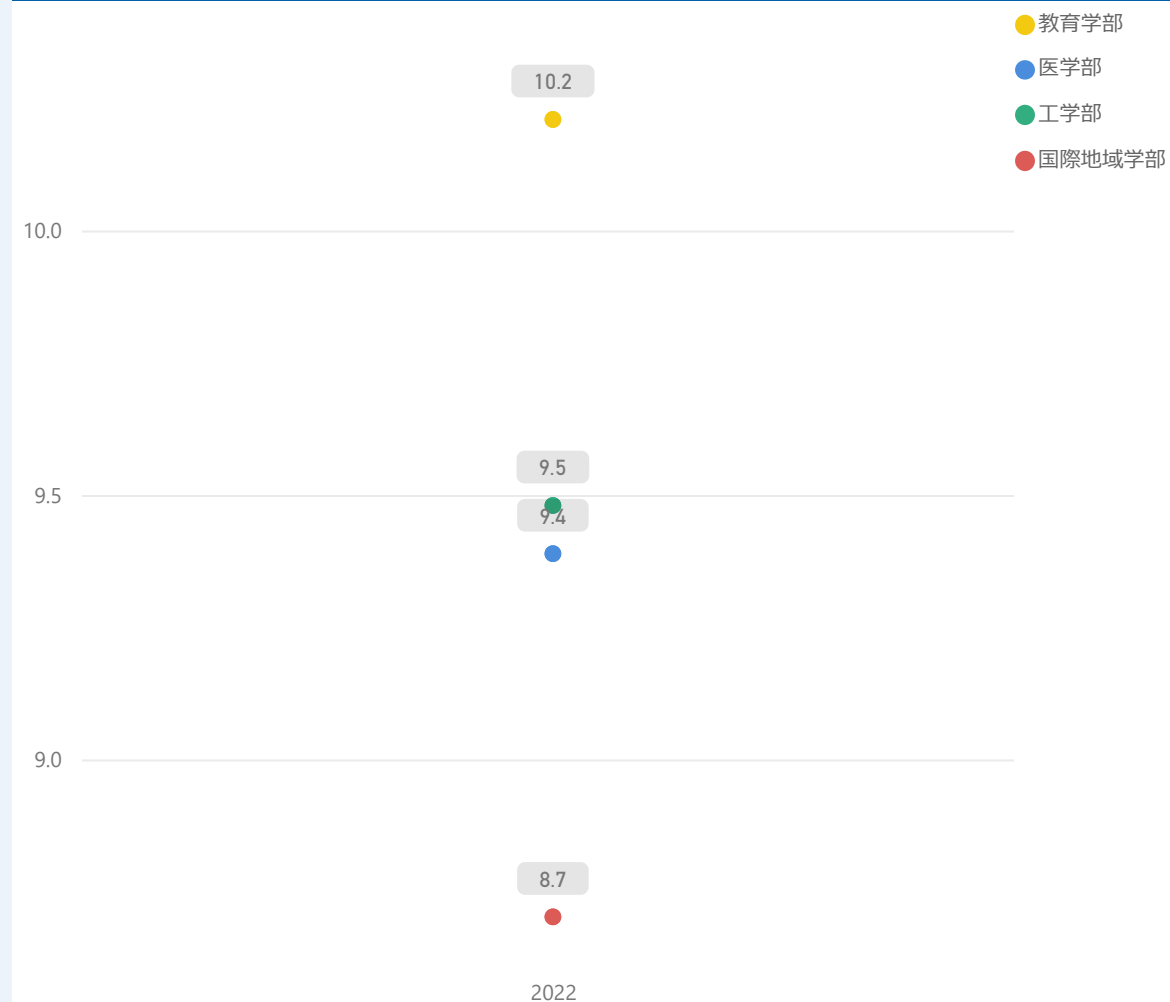
課程区分	授業外学修時間（時間）
学士課程	9.5

目標値

授業外学修時間

第3期末 **12.5** 時間より増

【参考】授業外学修時間の推移（学部・研究科別）





年度

- 2022
- 2021

標準修業年限内卒業・修了率			
教育研究上の基本組織	卒業・修了者数	学生数計	標準修業年限内卒業・修了率
▲			
教育学部	88	102	86.3%
医学部医学科	81	110	73.6%
医学部看護学科	60	62	96.8%
工学部	440	538	81.8%
国際地域学部	48	63	76.2%
連合教職開発研究科専門職学位課程（教職大学院の課程）	47	47	100.0%
医学系研究科修士課程	2	4	50.0%
医学系研究科博士課程	4	25	16.0%
工学研究科博士前期課程	253	273	92.7%
工学研究科博士後期課程	8	18	44.4%
国際地域マネジメント研究科	6	8	75.0%
合計	1,037	1,250	83.0%

目標値

標準修業年限内卒業・修了率

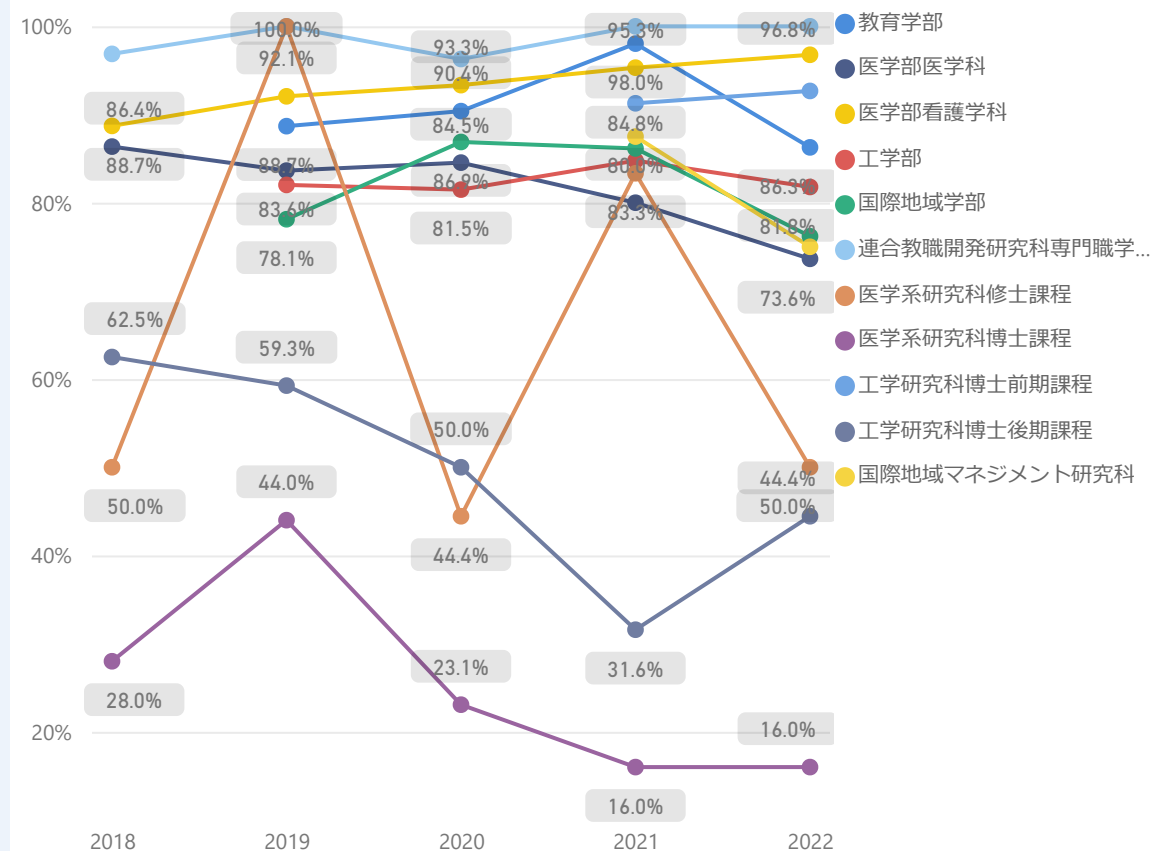
教育学部・医学部・工学部・国際地域学部・国際地域マネジメント研究科：**80%**

工学研究科：**82.5%**

連合教職開発研究科：**85%**

医学系研究科：-

【参考】標準修業年限内卒業・修了率の推移（学部・研究科別）





年度

- 2022
- 2021

標準修業年限×1.5年内卒業・修了率

教育研究上の基本組織	卒業・修了者数	学生数計	標準修業年限×1.5年内卒業・修了率
教育学部	99	104	95.2%
医学部医学科	107	110	97.3%
医学部看護学科	57	60	95.0%
工学部	483	540	89.4%
国際地域学部	61	61	100.0%
連合教職開発研究科専門職学位課程（教職大学院の課程）	59	59	100.0%
医学系研究科修士課程	6	6	100.0%
医学系研究科博士課程	9	26	34.6%
工学研究科博士前期課程	258	275	93.8%
工学研究科博士後期課程	13	20	65.0%
国際地域マネジメント研究科	7	8	87.5%
合計	1,159	1,269	91.3%

目標値

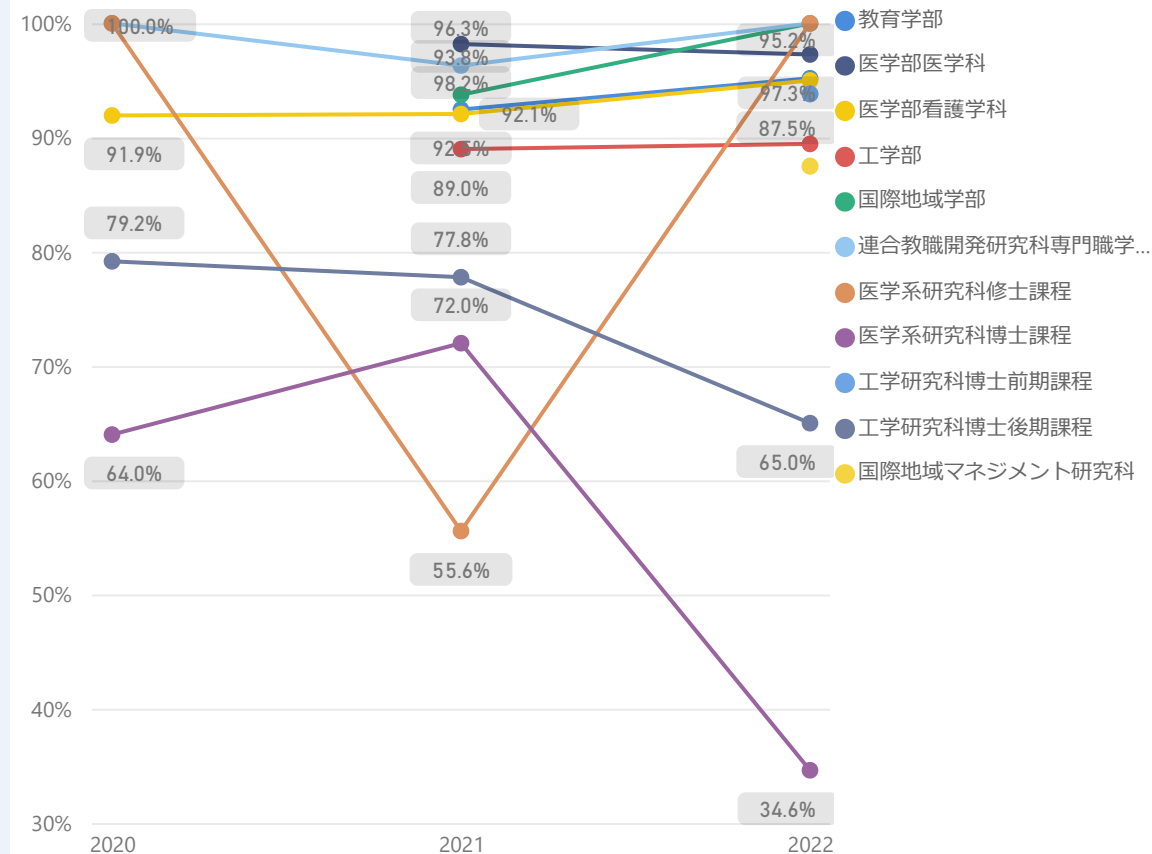
標準修業年限×1.5年内卒業・修了率

教育学部・医学部・工学部・国際地域学部：**90%以上**

連合教職開発研究科・医学系研究科修士課程・工学研究科博士前期課程・国際地域マネジメント研究科：**85%以上**

医学系研究科博士課程・工学研究科博士後期課程：**70%以上**

【参考】標準修業年限×1.5年内卒業・修了率の推移（学部・研究科別）



年度

- 2022
- 2021
- 2020
- 2019

学位授与数（博士）

学部・研究科 ▲	2019	2020	2021	2022	合計
医学系研究科	15	18	18	22	73
博士課程	14	13	14	21	62
論文博士	1	5	4	1	11
工学研究科	29	8	21	18	76
博士後期課程	25	5	17	16	63
論文博士	4	3	4	2	13
合計	44	26	39	40	149

目標値

前年度より増

年度

- 2022
- 2021

就職率（学部・研究科、学科・専攻別）

学部・研究科	就職率
教育学部	100.0%
医学部	97.5%
工学部	100.0%
国際地域学部	96.6%
教育学研究科	100.0%
連合教職開発研究科	100.0%
医学系研究科	100.0%
工学研究科	100.0%
国際地域マネジメント研究科	100.0%
合計	99.3%

就職率（課程別）

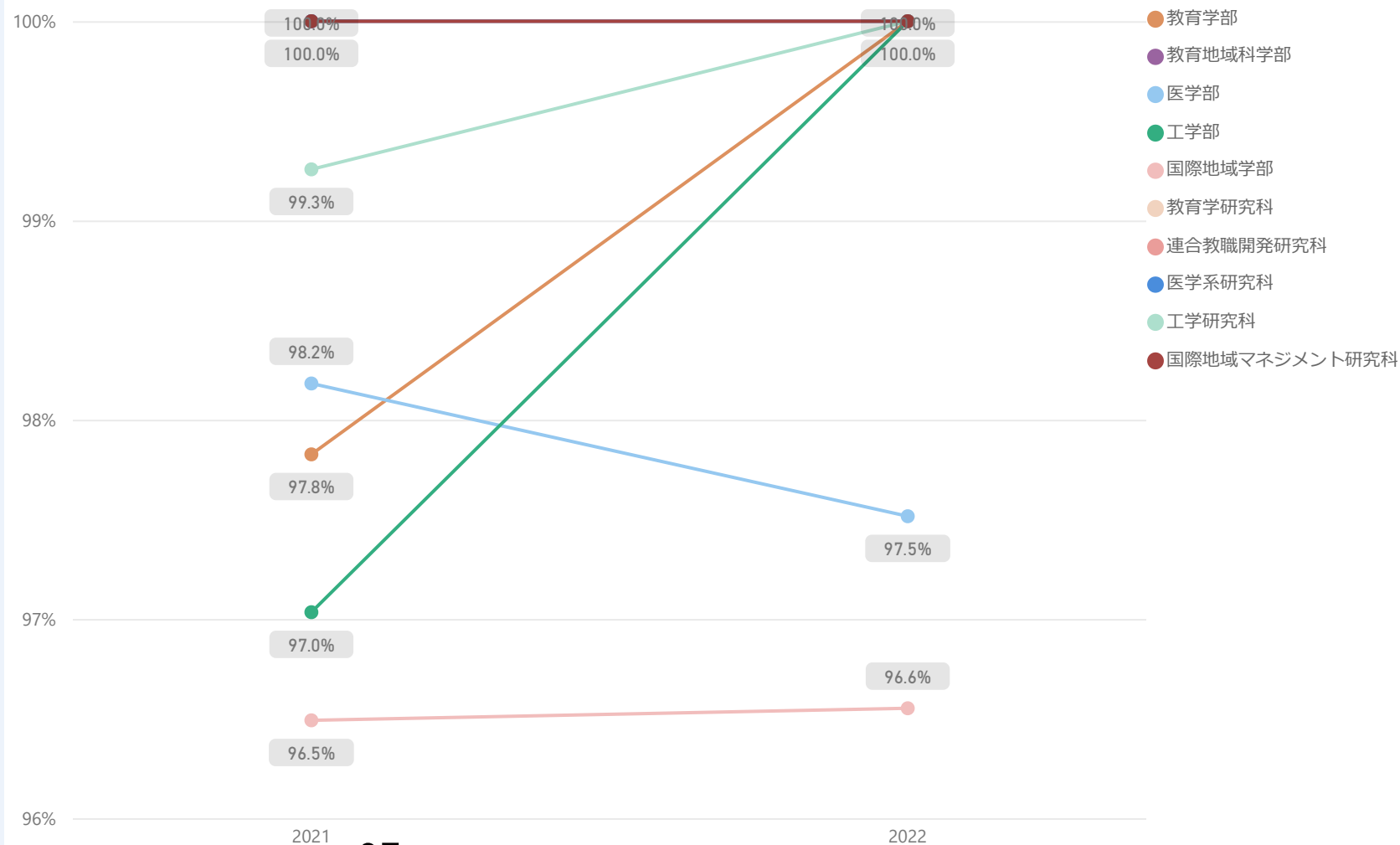
課程区分	就職率
学士課程	98.8%
修士課程・博士前期課程	100.0%
専門職学位課程	100.0%
博士課程・博士後期課程	100.0%
合計	99.3%

目標値

就職希望者に対する就職率

概ね96%前後

【参考】就職率（学部・研究科別）



年度

- 2022
 2021

科研費採択率（部門・領域別）

部門等	応募件数	採択件数	採択率	新規採択金額	教員数計	教員あたりの獲得額
教育・人文社会系部門	42	17	40.5%	21,810,000	99	220,303
教員養成領域	35	12	34.3%	15,180,000	73	207,945
総合グローバル領域	7	5	71.4%	6,630,000	26	255,000
医学系部門	208	43	20.7%	116,610,000	306	381,078
工学系部門	106	24	22.6%	79,040,000	140	564,571
先進部門	29	11	37.9%	33,020,000	38	868,947
附属国際原子力工学研究所	5	1	20.0%	780,000	9	86,667
高エネルギー医学研究センター	5	3	60.0%	9,490,000	4	2,372,500
遠赤外線開発研究センター	7	4	57.1%	8,710,000	12	725,833
子どものこころの発達研究センター	10	3	30.0%	14,040,000	10	1,404,000
繊維マテリアル研究センター	2				3	
基盤部門	17	1	5.9%	520,000	29	17,931
産学官連携本部	5				6	
ライフサイエンス支援センター	2				4	
アドミッションセンター	1					
高等教育推進センター					1	
語学センター	2	1	50.0%	520,000	8	65,000
キャリアセンター					1	
データ科学・AI教育研究センター	1				1	
地域創生推進本部	3				3	
総合情報基盤センター	1				1	
保健管理センター	2				4	
その他	6	2	33.3%	1,800,000		
合計	408	98	24.0%	252,800,000	612	413,072

目標値

科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
 第3期平均値より増
 教員当たりの平均獲得額：**429,428円**

【参考】科研費採択状況の推移（部門・領域別）

年度	教員あたりの獲得額
▼ 2022	413,072
2021	387,366

年度	外部資金獲得状況（部門・領域別）							
	部門等	受託研究件数	受託研究総額	共同研究件数	共同研究総額	教員数計	教員当たりの受託研究受入額	教員当たりの共同研究受入額
● 2022	教育・人文社会系部門			3	852,940	99		8,616
○ 2021	教員養成領域					73		
	総合グローバル領域			3	852,940	26		32,805
	医学系部門	91	138,134,464	44	47,066,024	306	451,420	153,811
	工学系部門	28	117,227,143	130	103,543,916	140	837,337	739,599
	先進部門	13	240,216,381	52	42,645,094	38	6,321,484	1,122,239
	附属国際原子力工学研究所	7	44,828,464	12	4,713,594	9	4,980,940	523,733
	高エネルギー医学研究センター	1	10,660,000	19	20,723,500	4	2,665,000	5,180,875
	遠赤外線開発研究センター	2	2,180,100	5	1,018,000	12	181,675	84,833
	子どものこころの発達研究センター	2	12,355,817	3	0	10	1,235,582	0
	繊維マテリアル研究センター	1	170,192,000	13	16,190,000	3	56,730,667	5,396,667
	基盤部門	4	51,355,749	33	40,473,904	29	1,770,888	1,395,652
	産学官連携本部	4	51,355,749	29	39,055,600	6	8,559,292	6,509,267
	ライフサイエンス支援センター			1	0	4		0
	高等教育推進センター					1		
	語学センター					8		
	キャリアセンター					1		
	データ科学・AI教育研究センター					1		
	地域創生推進本部			3	1,418,304	3		472,768
	総合情報基盤センター					1		
	保健管理センター					4		
	合計	136	546,933,737	262	234,581,878	612	893,683	383,304

目標値

外部資金獲得状況
（教員当たりの受託・共同研究受入額）
第3期平均値より増
教員当たりの平均受託研究受入額
709,444円
教員当たりの平均共同研究受入額
375,685円

【参考】外部資金獲得状況の推移（部門・領域別）

年度	教員当たりの受託研究受入額	教員当たりの共同研究受入額
▼ 2022	893,683	383,304
2021	632,674	291,908

年度

● 2022

正規留学生数（学部・研究科別）

学部・研究科	人数
工学部	45
国際地域学部	9
教育学研究科	1
連合教職開発研究科	1
工学研究科	48
国際地域マネジメント研究科	2
合計	106

【参考】正規留学生数（地域別）

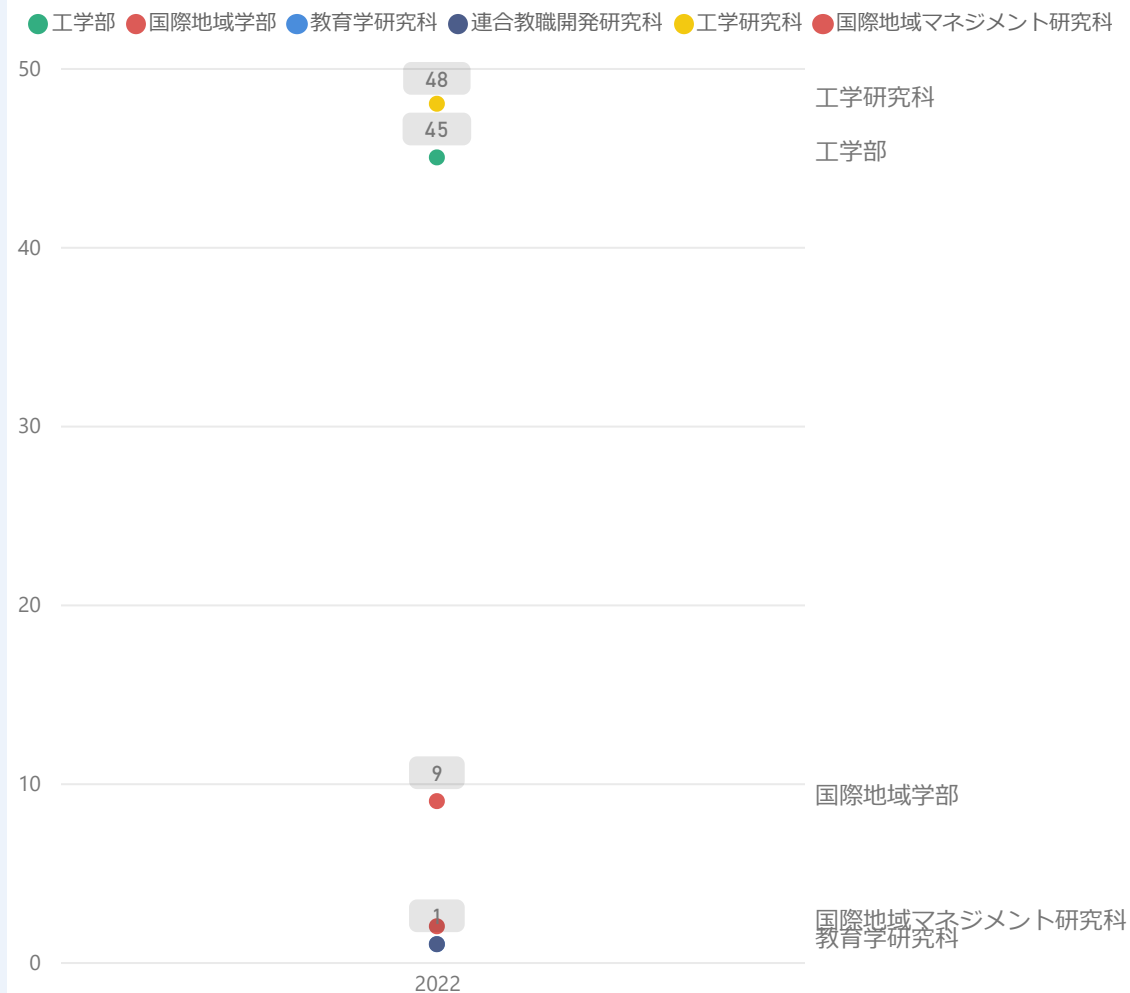
地域名	正規留学生数
アジア	101
アフリカ	2
欧州	3
合計	106

目標値

正規留学生数

第3期の年平均 **118名**より増

【参考】正規留学生数の推移（学部・研究科別）



年度

- 2022
- 2021

海外派遣学生数（学部・研究科別）

学部・研究科	人数
医学部	2
教育学部	4
工学研究科	20
工学部	35
国際地域学部	38
合計	99

【参考】海外派遣学生数（国別）

地域名・国名	人数
アジア	81
タイ	67
フィリピン	6
韓国	6
ベトナム	1
台湾	1
北米	12
アメリカ合衆国	12
欧州	6
イタリア	2
ポーランド	1
ルーマニア	3
合計	99

目標値

海外派遣学生数

第3期の年平均**171名**（JASSO海外留学支援制度の実績）より増

【参考】海外派遣学生数の推移（学部・研究科別）



分析基本データ集 4 - ①専任教員数、4 - ②研究指導・補助教員数

年度

- 2023
- 2022
- 2021

【学部】専任教員数

学部/研究科	課程・学科/課程・専攻	専任教員計	うち教授
教育学部	学校教育課程	40	18
医学部	医学科	218	44
医学部	看護学科	27	7
工学部	機械・システム工学科	38	16
工学部	電気電子情報工学科	31	13
工学部	建築・都市環境工学科	18	6
工学部	物質・生命化学科	34	16
工学部	応用物理学科	16	9
国際地域学部	国際地域学科	23	7

【大学院】専任教員数（研究指導教員数、研究指導補助教員数）

学部/研究科	課程・学科/課程・専攻	専任教員計	研究指導教員計	うち教授	研究指導補助教員計	授業担当教員
医学系研究科	修士課程看護学専攻	18	9	7	9	0
医学系研究科	博士課程統合先進医学専攻	112	42	42	70	0
工学研究科	博士前期課程産業創成工学専攻	40	35	23	5	0
工学研究科	博士前期課程安全社会基盤工学専攻	51	47	20	4	0
工学研究科	博士前期課程知識社会基礎工学専攻	63	61	30	2	0
工学研究科	博士後期課程総合創成工学専攻	133	106	73	27	0

【専門職大学院】専任教員数

学部/研究科	課程・学科/課程・専攻	専任教員計	うち教授	うち実務家教員	実務家教員のうちみなし専任	学部の専任を兼ねる教員
連合教職開発研究科	専門職学位課程(教職大学院の課程)教職開発専攻	24	14	14	2	0
国際地域マネジメント研究科	専門職学位課程国際地域マネジメント専攻	15	9	6	2	9

【学部】設置基準上の必置教員数

学部/研究科	課程・学科/課程・専攻	必置教員数	うち教授
教育学部	学校教育課程	10	5
医学部	医学科	140	30
医学部	看護学科	12	6
工学部	機械・システム工学科	11	6
工学部	電気電子情報工学科	10	5
工学部	建築・都市環境工学科	8	4
工学部	物質・生命化学科	10	5
工学部	応用物理学科	8	4
国際地域学部	国際地域学科	12	6

【大学院】設置基準上の必置教員数（研究指導教員数、研究指導補助教員数）

学部/研究科	課程・学科/課程・専攻	必置教員数	研究指導教員	うち教授	研究指導補助教員
医学系研究科	修士課程看護学専攻	12	6	4	6
医学系研究科	博士課程統合先進医学専攻	60	30	20	30
工学研究科	博士前期課程産業創成工学専攻	13	13	9	0
工学研究科	博士前期課程安全社会基盤工学専攻	12	12	8	0
工学研究科	博士前期課程知識社会基礎工学専攻	12	12	8	0
工学研究科	博士後期課程総合創成工学専攻	8	8	6	0

【専門職大学院】設置基準上の必置教員数

学部/研究科	課程・学科/課程・専攻	必置教員数	うち教授	うち実務家教員	みなし専任の上限	学部の専任を兼ねる教員の上限
連合教職開発研究科	専門職学位課程(教職大学院の課程)教職開発専攻	15	8	6	4	12
国際地域マネジメント研究科	専門職学位課程国際地域マネジメント専攻	11	6	4	3	9



年度

- 2022
- 2021

若手教員採用数、若手教員採用比率

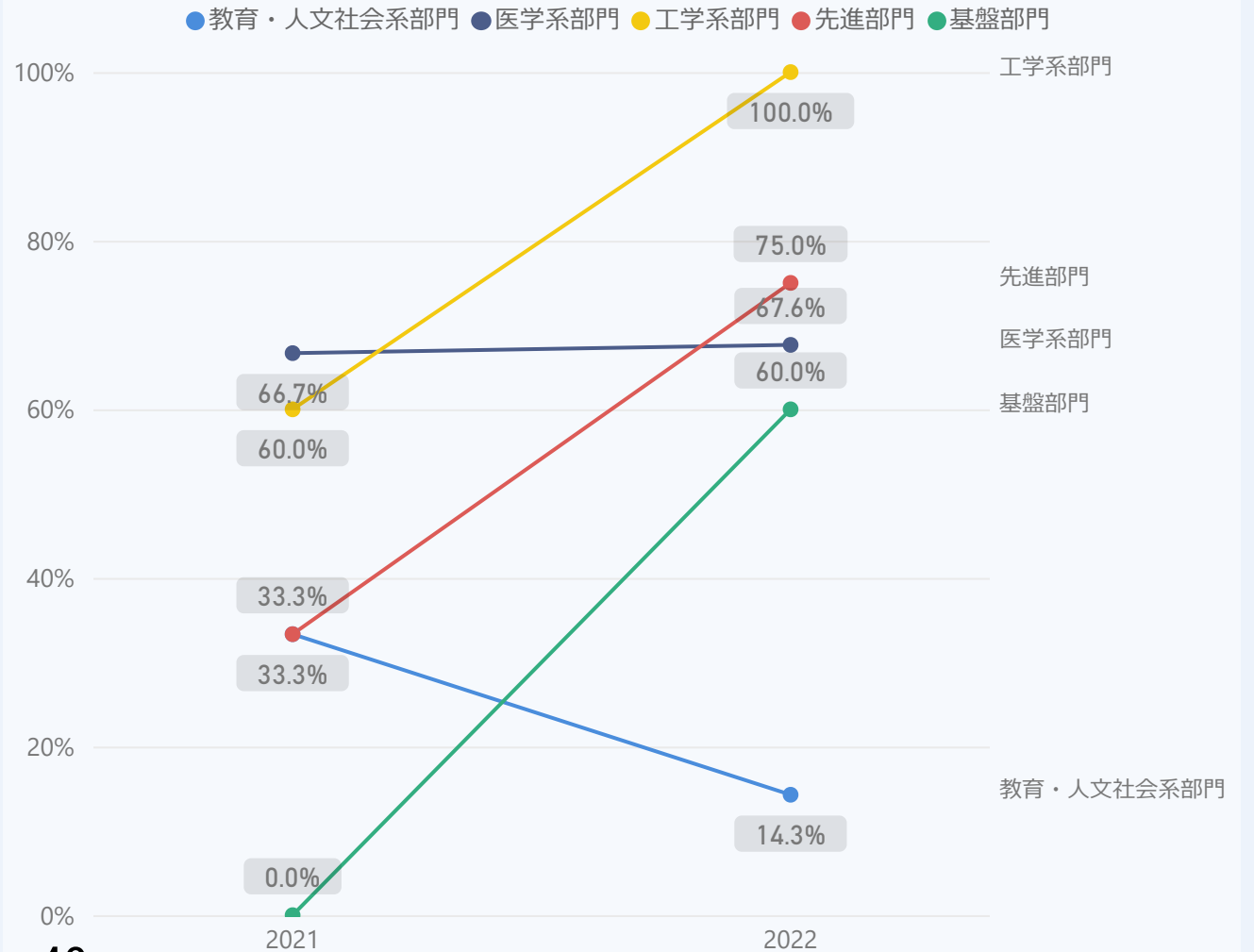
部門等	若手教員採用数	教員採用数	若手教員採用比率
▲			
教育・人文社会系部門	1	7	14.3%
教員養成領域	1	7	14.3%
医学系部門	23	34	67.6%
医学領域	7	12	58.3%
看護学領域	0	2	0.0%
医学領域（附属病院部）	16	20	80.0%
工学系部門	1	1	100.0%
工学領域	1	1	100.0%
先進部門	3	4	75.0%
高エネルギー医学研究センター	0	1	0.0%
子どものこころの発達研究センター	3	3	100.0%
基盤部門	3	5	60.0%
テニュアトラック推進本部	2	2	100.0%
地域創生推進本部	1	3	33.3%
合計	31	51	60.8%

目標値

若手教員採用比率 **年平均60%以上**

※福井大学における教員の総合的な人事計画（令和4年9月21日～令和10年3月31日）

【参考】若手教員採用比率の推移（部門別）





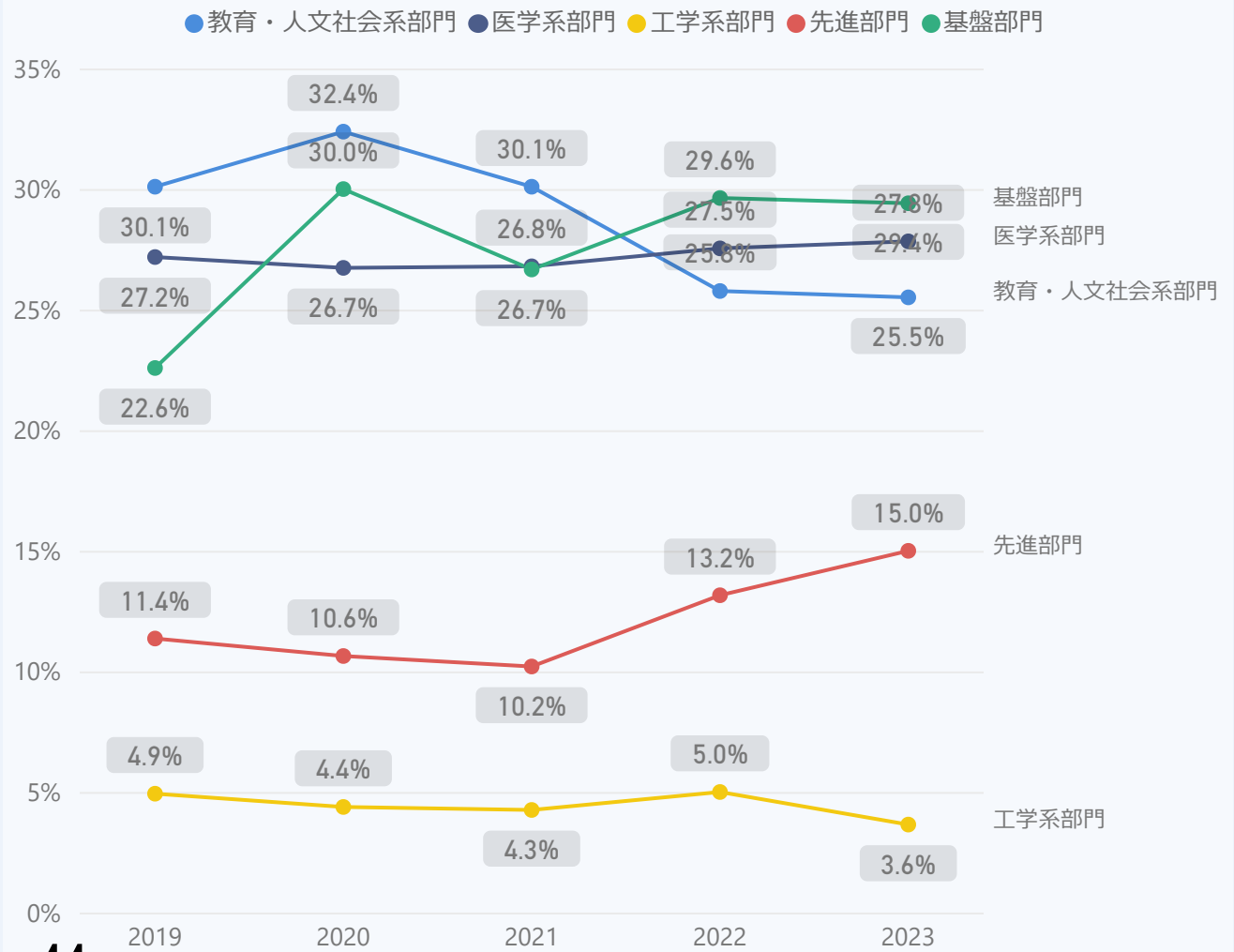
年度	男女別教員数、女性教員比率				
	部門等	男	女	合計	女性教員比率
● 2023	教育・人文社会系部門	73	25	98	25.5%
○ 2022	教員養成領域	55	17	72	23.6%
○ 2021	総合グローバル領域	18	8	26	30.8%
○ 2020	医学系部門	223	86	309	27.8%
○ 2019	医学領域	122	24	146	16.4%
○ 2018	看護学領域	4	23	27	85.2%
○ 2017	医学領域（附属病院部）	97	39	136	28.7%
○ 2016	工学系部門	132	5	137	3.6%
○ 2015	工学領域	132	5	137	3.6%
○ 2014	先進部門	34	6	40	15.0%
○ 2024	附属国際原子力工学研究所	9	0	9	0.0%
	高エネルギー医学研究センター	5	0	5	0.0%
	遠赤外領域開発研究センター	10	1	11	9.1%
	子どものこころの発達研究センター	8	5	13	38.5%
	繊維マテリアル研究センター	2	0	2	0.0%
	基盤部門	24	10	34	29.4%
	産学官連携本部	4	0	4	0.0%
	テニユアトラック推進本部	2	0	2	0.0%
	カーボンニュートラル推進本部	4	0	4	0.0%
	ライフサイエンス支援センター	2	0	2	0.0%
	高等教育推進センター	1	0	1	0.0%
	語学センター	3	4	7	57.1%
	キャリアセンター		1	1	100.0%
	データ科学・AI教育研究センター	1	0	1	0.0%
	地域創生推進本部	5	2	7	28.6%
	総合情報基盤センター	1	0	1	0.0%
	保健管理センター	1	3	4	75.0%
	合計	486	132	618	21.4%

目標値

女性教員在職比率 **22%以上**

※国立大学法人福井大学一般事業主行動計画（令和4年4月1日～令和9年3月31日）

【参考】女性教員比率の推移（部門別）



6. 特徴データ一覧とその達成状況

特徴データ（定量的な指標の達成状況）一覧

中期計画番号	評価指標番号	定量的な指標	目標値	達成状況（目標・実績値）						意欲的
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	
(1)-1	(1)-1-A	地域イノベーション関与指数：第3期（235）より増加（第4期の平均）	235以上（R9年度）	371						
				241	248	255	265	271	278	
(1)-2	(1)-2-B	ステークホルダーのニーズに応えた嶺南地域の課題解決に向けたプロジェクト件数	30件以上（累積値）	17件						
				5件	5件（累計10件）	5件（累計15件）	6件（累計21件）	6件（累計27件）	6件（累計33件）	
(1)-2	(1)-2-C	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額	9,129千円以上（累積値）	6,230千円						
				1,500千円	1,500千円（累計3,000千円）	1,575千円（累計4,575千円）	1,575千円（累計6,150千円）	1,650千円（累計7,800千円）	1,650千円（累計9,450千円）	
(1)-3	(1)-3-A	令和2年度に開設した医学部総合診療・総合内科センターにおける総合診療・総合内科医育成コースの専門医療General道場の研修を修了した者	12名以上（累積値）	2名						
				2名	2名（累計4名）	2名（累計6名）	2名（累計8名）	2名（累計10名）	2名（累計12名）	
(1)-3	(1)-3-B	本学で育成・輩出した感染症専門医数	6名以上（累積値）	2名						
				1名	1名（累計2名）	1名（累計3名）	1名（累計4名）	1名（累計5名）	1名（累計6名）	
(1)-3	(1)-3-C	①「健康のまちづくり友好都市連盟」サミットの開催回数 ②当該サミット参加自治体数	①1回（毎年度） ②延べ180自治体（累積値）	1回						
				①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	
				31自治体	②30自治体（延べ60自治体）が参加	②30自治体（延べ90自治体）が参加	②30自治体（延べ120自治体）が参加	②30自治体（延べ150自治体）が参加	②30自治体（延べ180自治体）が参加	
(1)-4	(1)-4-A	「未来協働プラットフォームふくい」における「学生/社会人教育部会」等での議論に基づき実施したリカレントプログラム数	2件以上（累積値）	1件						
				-	-	1件以上	-	1件以上（累計2件以上）	1件以上（累計3件以上）	
(2)-1	(2)-1-B	就職率	概ね96%前後を維持（R9年度）	99.3%						◆
				概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	
(2)-2	(2)-2-A	高等学校における探究活動の支援回数	46回以上（R9年度）	95回						
				30回	40回	46回	46回	46回以上	46回以上	
(2)-2	(2)-2-B	学内における探究プロジェクトの開催回数	16回以上（R9年度）	14回						
				12回	14回	16回	16回	16回以上	16回以上	
(2)-3	(2)-3-A	就職率	概ね96%前後を維持（R9年度）	99.3%						◆
				概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	
(3)-1	(3)-1-B	認定取得した教育プログラム履修者数	200名以上（R9年度）	331名						
				300名	340名（対象科目の受入定員数）	340名（対象科目の受入定員数）	855名（入学定員数）	855名（入学定員数）	855名（入学定員数）	
(3)-2	(3)-2-B	多職種連携教育科目数	6科目以上（R9年度）	5科目						
				6科目	6科目	7科目以上	7科目以上	7科目以上	7科目以上	
(4)-1	(4)-1-B	修了までに必修以外の工学研究科共通科目を履修した学生数（工学研究科博士前期課程（改組後））	150名以上（毎年度）	-	(195名)※					
				-	2023.3.31現在の暫150名	150名	155名	155名	155名	
(4)-1	(4)-1-C	工学研究科博士前期課程修了生の就職率	概ね96%前後を維持（毎年度）	100%						
				概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	概ね96%前後	
(4)-2	(4)-2-A	他大学や機関と連携して行う原子力安全工学教育メニューの実施回数	38回以上（累積値）	13回						
				8回	8回（累計16回）	10回（累計26回）	12回（累計38回）	12回（累計50回）	12回（累計62回）	
(4)-2	(4)-2-B	原子力関連分野への就職者数	52人以上（累積値）	13人						
				10人	10人（累計20人）	10人（累計30人）	10人（累計40人）	10人（累計50人）	10人（累計60人）	
(5)-1	(5)-1-A	大学院教師教育・教員養成カリキュラムにおける長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目割合	90%以上（R9年度）	77%						
				77%以上	88%以上	88%以上	88%以上	90%以上	90%以上	
(5)-1	(5)-1-B	長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目における大学院生の学習（能力）評価に参画する立場の異なるステークホルダー数	6名以上（R9年度）	3名						
				3名	3名	4名	5名	6名	6名	
(5)-1	(5)-1-C	「理論と実践の往還」及び長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の展開の視点から、すべての科目（授業科目・研修科目）が有機的に編成されたカリキュラムを実施する拠点数（連携大学・自治体）	5拠点以上（R9年度）	3拠点						
				3拠点	4拠点以上	4拠点以上	5拠点以上	5拠点以上	5拠点以上	
(5)-2	(5)-2-B	海外事業所や海外展開する国内企業等との間でオンラインによるヒアリングや議論を行うプログラム件数	12件以上（累積値）	13件						
				2件	2件（累計4件）	2件（累計6件）	2件（累計8件）	2件（累計10件）	2件（累計12件）	
(6)-1	(6)-1-C	教育学部全体の特別支援学校教諭の免許状取得率	25%以上（R9年度）	15.2%						
				15%以上	15%以上	15%以上	20%以上	25%以上	25%以上	
(6)-2	(6)-2-B	卒業時における学生の達成度自己評価において、「できる」「ある程度できる」と回答した学生の割合	R5年度（医学科）以上（R9年度）	-						
				-	基準値を設定	R5年度以上	R5年度以上	R5年度以上	R5年度以上	
(6)-2	(6)-2-B	卒業時における学生の達成度自己評価において、「できる」「ある程度できる」と回答した学生の割合	R4年度（看護学科）以上（R9年度）	(看護学科)92.0%						
				基準値を設定	(医学科)初年度以上(看護学科)92.1%以上	(医学科)初年度以上(看護学科)92.1%以上	(医学科)初年度以上(看護学科)92.1%以上	(医学科)初年度以上(看護学科)92.1%以上	(医学科)初年度以上(看護学科)92.1%以上	

中期計画番号	評価指標番号	定量的な指標	目標値	達成状況(目標・実績値)						意欲的
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	
(6)-3	(6)-3-A	地域医療、感染症教育に関する新たな取組件数	R4の数値以上(R9年度)	3件						
				基準値を設定	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	
(6)-3	(6)-3-B	地域医療、感染症に関するコンピテンシー達成度(学生のアンケート結果)	R4の数値以上(R9年度)	(医学科) 地域医療/4.17 感染症/4.04 (看護学科) 地域医療/4.24 感染症/4.17						
				基準値を設定	(医学科) 地域医療/4.18以上 感染症/4.05以上 (看護学科) 地域医療/4.25以上	(医学科) 地域医療/4.18以上 感染症/4.05以上 (看護学科) 地域医療/4.25以上	(医学科) 地域医療/4.18以上 感染症/4.05以上 (看護学科) 地域医療/4.25以上	(医学科) 地域医療/4.18以上 感染症/4.05以上 (看護学科) 地域医療/4.25以上	(医学科) 地域医療/4.18以上 感染症/4.05以上 (看護学科) 地域医療/4.25以上	
(7)-1	(7)-1-A	正規留学生数	118名以上(R9年度)	106名						
				118名以上	118名以上	118名以上	118名以上	118名以上	118名以上	
(7)-1	(7)-1-B	正規留学生の満足度(正規留学生を対象としたアンケート)	R4の数値以上(R9年度)	8.89/10点						
				基準値を設定	8.9/10点以上	8.9/10点以上	8.9/10点以上	8.9/10点以上	8.9/10点以上	
(7)-2	(7)-2-B	英語による専門科目数	R4の数値以上(毎年度)	368						
				基準値を設定	369以上	369以上	369以上	369以上	369以上	
(7)-2	(7)-2-C	②国際通用性を高める教育(海外留学等)の実施前後のグローバル・コンピテンシー指標	②15%以上向上(平均値)	19%						
				15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	
(7)-3	(7)-3-A	海外教員研修留学生及び研修受講生指数	300以上(R9年度)	305						
				200	300	300	300	350	350	
(7)-3	(7)-3-C	海外教員研修留学生及び研修受講生による「長期実践研究報告」において、研修について良好な評価(上方3/5以上)を行った留学生・研修生の割合	60%以上 (該当人数/全体人数) (R9年度)	56%						
				50%以上	55%以上	60%以上	60%以上	70%以上	80%以上	
(8)-1	(8)-1-A	遠赤外領域研究に関する国内・国際共同研究の新規実施件数	227件以上(累積値)	46件						
				40件	40件(累計80件)	40件(累計120件)	40件(累計160件)	34件(累計194件)	33件(累計227件)	
(8)-2	(8)-2-A	Science Citation Index (SCI) 論文数	130件(累積値)	15件						
				23件	23件(累計46件)	23件(累計69件)	23件(累計92件)	20件(累計112件)	20件(累計132件)	
(8)-2	(8)-2-B	①試験研究炉の研究分野に係るセミナー等の開催回数 ②同研究分野の連携協定数	①2回以上(毎年度) ②3件以上(累積値)	7回						
				年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	
(8)-3	(8)-3-A	病態画像研究に関する学術誌への英文論文掲載数	160件以上(累積値)	48件						
				30件	30件(累計60件)	30件(累計90件)	30件(累計120件)	30件(累計150件)	11件(累計161件)	
(8)-4	(8)-4-A	地域イノベーション創出指数	176以上(毎年度)	225						
				185	185	186	189	190	190	
(8)-5	(8)-5-A	当該分野における学術誌への英文論文掲載数	1,756件以上(累積値)	312件						
				300件	300件(累計600件)	300件(累計900件)	300件(累計1200件)	300件(累計1500件)	256件(累計1756件)	
(8)-5	(8)-5-B	当該分野における研究成果の具体化件数(特許出願数と特許の権利化件数の合計)	92件以上(累積値)	16件						
				16件	16件(累計32件)	16件(累計48件)	16件(累計64件)	16件(累計80件)	13件(累計93件)	
(9)-1	(9)-1-A	①義務教育学校における発達障害児を含めたPBLの実施時間数 ②幼稚園における発達障害児を含めた「PBLに繋がる遊びの時間」数	①120時間以上(毎年度) ②150時間以上(毎年度)	①-1 105~136時間 ①-2 90~105時間						
				①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	
(9)-1	(9)-1-B	「保護者を交えた支援会議」の実施件数	138件より20%増加(累積値)	34件						
				30件	30件(累計60件)	30件(累計90件)	30件(累計120件)	30件(累計150件)	30件(累計180件)	
(9)-1	(9)-1-C	附属学園に所属する教員の教職大学院への進学者数	18名以上(累積値)	3名						
				3名	3名(累計6名)	4名(累計10名)	4名(累計14名)	4名(累計18名)	2名(累計20名)	
(10)-1	(10)-1-A	①研究者等を対象とした多様なテーマによる臨床研究に関するセミナー・講習会の実施件数 ②研究デザイン設計を含む総合的な統計相談件数	①12回以上(毎年度) ②12回以上(毎年度)	22回						
				12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	
(10)-2	(10)-2-A	シミュレーターを活用した臨床研修の実施回数	30回以上(毎年度)	48回						
				30回以上	30回以上	30回以上	30回以上	30回以上	30回以上	
(10)-2	(10)-2-B	卒前教育・卒後教育を一体化し、臨床実技とシミュレーショントレーニングを組み合わせた教育・研修プログラム数	3回以上(毎年度)	4プログラム						
				3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	

中期計画番号	評価指標番号	定量的な指標	目標値	達成状況(目標・実績値)						意欲的
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	
(10)-3	(10)-3-A	臨床研究の新規実施件数	1,205件以上(累積値)	226件						
				180件	185件 累計402件	190件	195件 累計804件	200件	205件 累計1206件	
(10)-3	(10)-3-B	不妊治療施設(新設施設)の治療件数	R4の数値以上(毎年度)	2007件						
				基準値を設定	2108件	2208件	2309件	2409件	2509件	
(10)-3	(10)-3-C	①がん遺伝子パネル検査件数 ②遺伝カウンセリング件数	①50件以上(累積値)	78件						
				①8件	①8件(累計16件)	①8件(累計24件)	①8件(累計32件)	①9件(累計41件)	①9件(累計50件)	
			②40件以上(累積値)	69件						
				②6件	②6件(累計12件)	②7件(累計19件)	②7件(累計26件)	②7件(累計33件)	②7件(累計40件)	
(11)-1	(11)-1-A	教職協働によるプロジェクト件数	10件以上(累積値)	継続5、新規2						
				継続5、新規2	新規1件以上 (累計8件以上)	新規1件以上 (累計9件以上)	新規1件以上 (累計10件以上)	(累計10件以上)	(累計10件以上)	
(12)-1	(12)-1-A	共用設備の使用件数	全学52,639件以上(累積値)	10,745件						
				9,138件	9,138件 (累計18,276件)	9,138件 (累計27,414件)	9,138件 (累計36,552件)	9,138件 (累計45,690件)	9,138件 (累計54,828件)	
				5,825件	(文京:4,922件)	(文京:4,922件 累計9,844件)	(文京:4,922件 累計14,766)	(文京:4,922件 累計19,688)	(文京:4,922件 累計24,610)	(文京:4,922件 累計29,532)
				4,920件	(松岡:4,216件)	(松岡:4,216件 累計8,432件)	(松岡:4,216件 累計12,648)	(松岡:4,216件 累計16,864)	(松岡:4,216件 累計21,080)	(松岡:4,216件 累計25,296)
(12)-2	(12)-2-A	エネルギー消費原単位値(原油換算値)の削減割合	0.038323kl/m ² 以下(R9年度)	0.03870kl/m ²						
				0.04000kl/m ² 以下	0.03950kl/m ² 以下	0.03900kl/m ² 以下	0.03830kl/m ² 以下	0.03815kl/m ² 以下	0.03800kl/m ² 以下	
(13)-1	(13)-1-A	産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン【追補版】を踏まえた、外部資金の獲得に関する新たな取組	2件以上(累積値)	1件						
				1件以上	1件以上 (累計2件以上)	-	-	1件以上 (累計3件以上)	-	
(13)-1	(13)-1-B	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額	9,129千円以上(累積値)	6,230千円						
				1,500千円	1,500千円 (累計3,000千円)	1,575千円 (累計4,575千円)	1,575千円 (累計6,150千円)	1,650千円 (累計7,800千円)	1,650千円 (累計9,450千円)	
(14)-2	(14)-2-A	connect Ufukuiの登録者数	2,000人以上(R9年度)	903人						
				500人以上	1000人以上	1500人以上	2000人以上	2000人以上	2000人以上	
(15)-1	(15)-1-A	事務局職員のデジタル技術の活用に関する研修会等への参加者数	延べ60名程度(累積値)	21名						
				10名	10名(累計20名)	10名(累計30名)	10名(累計40名)	10名(累計50名)	10名(累計60名)	
(15)-1	(15)-1-B	AI・RPAなどデジタル技術の導入件数	3件以上(累積値)	2件						
				1件	1件(累計2件)	1件(累計3件)	1件(累計4件)	1件(累計5件)	1件(累計6件)	
(15)-2	(15)-2-A	情報セキュリティの質の維持・向上に資する研修	12回以上(累積値)	2回						
				2回	2回(累計4回)	2回(累計6回)	2回(累計8回)	2回(累計10回)	2回(累計12回)	

※ ピンク色の塗りつぶしセルは、当該年度の実績が目標値が未達のもの。